

都市計画道路 3・2・5 旅籠町八日町線 (本町工区) はたごまちようかまちせん ほんちょうこうく 街路事業概要

<事業箇所>

山形市本町 (ほんちょう)  
一丁目地内 ほか

〔県道名：主要地方道山形朝日線  
(やまがたあさひせん)〕

<事業概要>

旅籠町八日町線は、山形市都市計画マスタープランにおける「都心リング」及び「駅環状道路」の一部を形成し、中心市街地の商業・業務機能を支える重要な道路です。

4車線に拡幅して現在の一方通行が解消されるほか、電線類の地中化により、都市景観と防災機能が向上します。また、歩道に無散水消雪を設置することで、冬でも安心して歩ける道路となります。

沿道には、市立病院済生館や第一小学校、山形まなび館などの公共施設や観光施設が多く建ち並んでおり、利用者の利便性の向上とともに中心市街地の活性化が期待されます。

「本町工区」では、「七日町工区」から南側約310m (東原村木沢線の交差点まで) を事業区間として整備を進めています。

なお、街路空間の整備にあたっては、地域の関係者を中心とした「街づくり委員会」の意見を参考に計画を行っています。

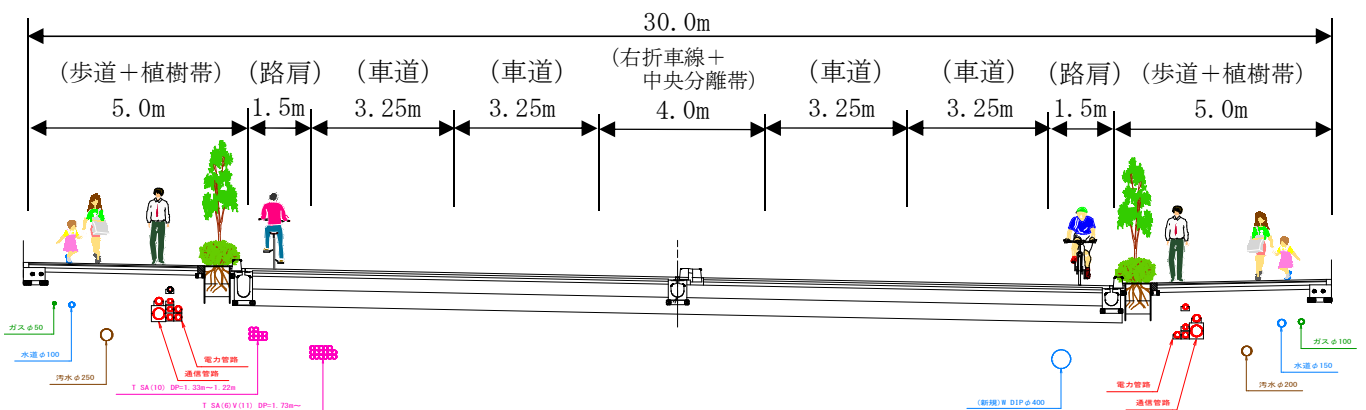
<事業計画>

- ・事業延長：306.8m
- ・計画幅員：30.0m (車道両側に幅5mの歩道を設置)
- ・車線数：4車線 (片側2車線)
- ・事業認可：平成26年度～
- ・総事業費：47億円

<位置図>



<標準横断面図>



## <事業箇所写真>

■事業予定地 起点(北)側より終点(南)側を望む



( 令和4年4月撮影 )

- ・写真「中央」の道路が現在の道路（南進一方通行）です。
- ・写真「両側」に事業用地を確保し、現道を幅員 30mの道路（片側2車線対面交通）に拡幅する予定です。
- ・道路沿いにある電柱・電線の機能は地中に埋設（無電柱化）され、都市景観と防災機能が向上します。
- ・無散水消雪機能（歩道下に地下水を通すことで雪を消す機能）を備えた歩道となります。